

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

<b>事業所名</b>	児童発達支援事業所 わくまる おおやぎ園	<b>公表日</b> 年   月   日
-------------	----------------------	----------------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	20%	80%	部屋の広さを考慮しながら活動内容を工夫しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	80%	20%		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0%	100%		多動のお子さんと静かに過ごしたいお子さんそれぞれに相応しいスペースがほしい →同線や表示の見直し、設備面の改善を段階的に進め、環境整備に努めます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	20%	80%		多動のお子さんと静かに過ごしたいお子さんそれぞれに相応しいスペースがほしい →工夫をしながら安心して心地よく過ごせる空間づくりに努めます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0%	100%		多動のお子さんと静かに過ごしたいお子さんそれぞれに相応しいスペースがほしい →空間の区分けや時間帯の調整等工夫し、必要に応じて個別対応が可能となるよう努めます。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	60%	40%	全職員の意見を出しやすい体制づくりを進め、また目標設定や振り返りの機会を設け、業務改善に取り組んでいます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	60%	40%	ご意見を把握し、職員間で共有の上業務改善に活かしています。今後は改善結果の協表やフィードバックを強化します。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	80%	20%	会議等を通じて職員の意見を把握し、業務改善に反映しています。今後より一層の改善内容の共有を強化します。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	20%	80%		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	研修会への参加、参加職員による報告会等情報共有しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	80%	20%	支援内容に基づきプログラムを作成し、公表しています。今後は内容の分かりやすさや公表方法を見直し、周知の徹底に努めます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	モニタリング期間にのっとり、定期的なアセスメントの見直しや計画作成を行っています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	言葉かけや活動内容等具体的な方法を考えています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	80%	20%		標準化されたツールのアセスメントは難しい →説明や記録の充実を図ります。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	80%	20%	職員間で情報共有を行い、チームで立案しています。今後は協議の機会を充実させ、より一層立案体制を強化します。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	80%	20%	・まだ集団活動が難しい実態のお子さんが多いので職員が仲立ちしている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	80%	20%	日々情報交換を行い、チームで連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	60%	40%	・正式な会議を毎日実施するのは難しいが、日々情報交換を行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	80%	20%	毎回ご利用者ごとにケース記録をつけています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	6か月ごとのモニタリングを行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	80%	20%	当園では相談支援専門員を中心に関係機関と連携しながら進めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	80%	20%	母親を介して保育所等の施設との連携が取れるように心がけています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	20%	80%		まだ小学校入学の児童がいない、今後該当児童にはそのような機会を設けたい
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	20%	80%		連携や助言を受ける機会が十分とはいえないため、今後は定期的な情報交換をし、支援の質の向上に努めます。
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0%	100%	・保育園や幼稚園と併用しているおこさんについては送迎時に情報交換している		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	60%	40%	送迎時や、連絡帳、保育所等の申し送りでのその日のこどもの状況をお伝えしています。		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	40%	60%	職員研修については行っています。	他の職員が行ったかもしれないが自分としては実施できなかった	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	80%	20%	契約時に各内容の説明を行っています。	行われていたかもしれないが、自分としてはまだ理解不十分 →説明方法を見直し、より丁寧な周知に努めます	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%			
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	100%	0%			
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	80%	20%	必要に応じて全職員で話し合いにより良い支援ができるよう考察しています。		

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		保護者同士が交流できる機会の開催について検討し、家族支援の充実に努めます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	80%	20%	相談・申入れに対応する体制を整え、迅速かつ丁寧な対応に努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	今後も定期的に情報を発信していきます。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	個人情報は適切に管理しています。今後は取組内容の周知を強化し、より一層の信頼確保に努めます。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	お子様の特性に応じて分かりやすく言葉かけを行い、保護者には口頭や書面、連絡帳を活用する等丁寧な情報伝達に努めています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	20%	80%		今後は交流機会や情報発信の方法を検討し、地域に開かれた事業運営に努めます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	職員に定期的に周知しています。保護者の方には重要事項説明書に記載されている緊急・事故・災害時の対応についての項目での説明、感染症に関しては口頭でお知らせしています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	火災・地震等を想定した避難訓練を定期的に実施し、振り返りを行いながら内容の改善に努めています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	アセスメント・モニタリングの際に確認を行っています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	80%	20%	保護者に確認を行い、必要に応じて医師の指示書に基づき対応をしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	80%	20%	常に起こりえる危険について予測・想定をし支援にあつたっている。事例があつた際は作成し周知します。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	20%	80%	計画に基づき事故防止や非常時対応の体制を整備しています。	取組内容の周知が十分でないため、今後は分かりやすく説明をし家族との連携強化に努めます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	ヒヤリハットを共有し、再発防止策を検討・実施しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	定期的に研修を行っています。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	契約時に説明と了承を頂いており、計画にも記載しています。		